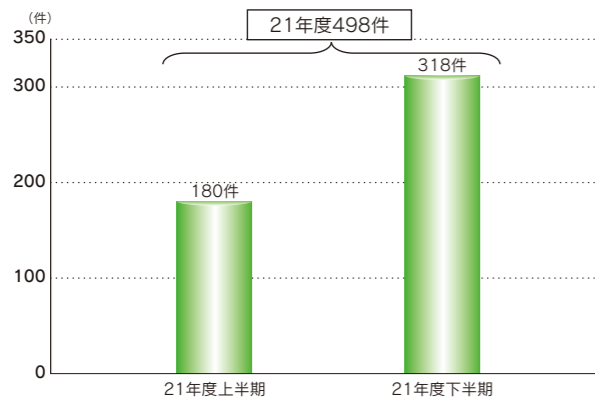


## 日本公庫のマッチング支援 平成21年度は498件

事業間連携によるマッチング支援件数



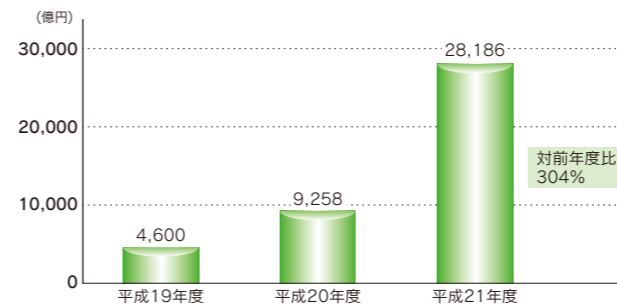
平成21年度における日本公庫の各事業の連携によるお取引先のマッチング支援件数は、上半期の180件から、下半期には318件に増加し、合計498件となりました。そのうち、農業や食品業者の方へのご支援が約9割(466件)を占めています。

これらのマッチングは、日本公庫が開催に力を入れている全国ビジネス商談会やアグリフードEXPOなどの商談会、異業種交流会を通じたケースが約8割と多くなっています。また、その内容は、新たな販売先を紹介するケースが約5割、地域の特色ある農産物や食品等の仕入先を紹介するケースが約4割、農工商等連携による新商品や新技術の開発にあたり連携先を紹介するケースが約1割でした。

## ～平成21年度を振り返って(中小企業事業)～

### ①セーフティネット貸付実績 過去最高を記録

セーフティネット貸付の融資金額の実績推移

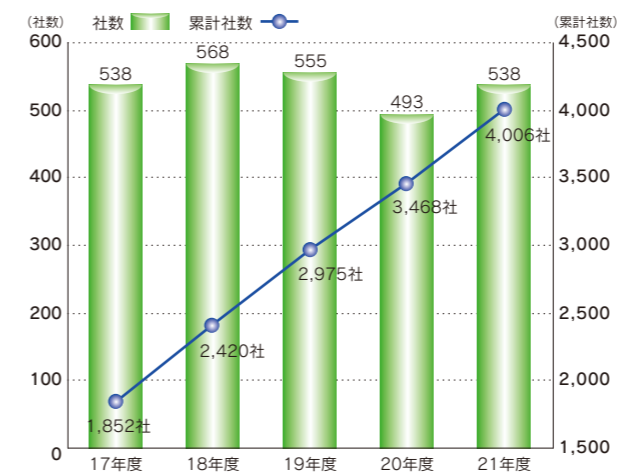


日本公庫中小企業事業では、経営環境等の悪化に伴い資金繰りに困難をきたしている中小企業の皆さまを支援する特別貸付制度「セーフティネット貸付」の平成21年度における融資実績が、過去最高の3万7千件(前年度比2.4倍)、2兆8千億円(同3倍)になりました。

同貸付制度については、政府の経済対策を踏まえ、中小企業の皆さまの資金繰りを支援するため、金利引下げ等の制度拡充を行っています。

### ②中小・ベンチャー企業向け「新事業育成融資」 累計4,000社を突破

新事業育成融資の融資社数推移



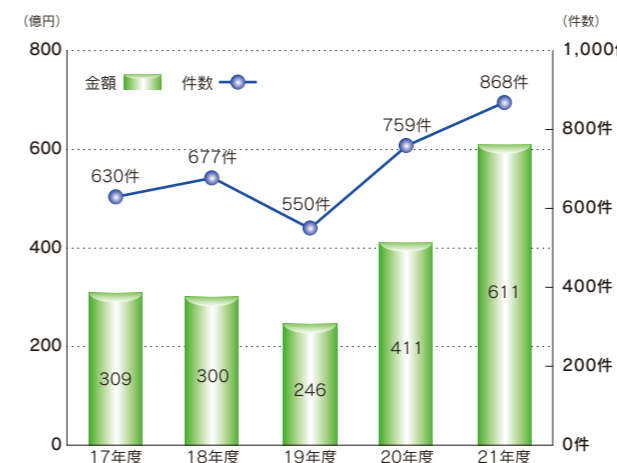
ベンチャー企業など、高い成長性が見込まれる新事業に取り組む中小企業を支援する特別貸付制度「新事業育成資金」の制度創設以来の累計実績が、平成21年度末で4,000社を突破しました(3月末時点での累計実績4,006社・1,814億円)。

本制度は、平成12年2月に創設され、平成17年4月に「知財活用支援融資」として特許等の知的財産権を活用して新たな事業を行うかた向けの取扱いを開始したほか、平成19年4月からは株式公開を目指すベンチャー企業向けに「新株予約権付融資(株式公開基準)」を追加しています。

また、平成20年4月には「資本性劣後ローン特例(制度名:挑戦支援資本強化特例)」の取扱いを開始するなど、リスクが高い新事業に取り組む企業に対し、より幅広い資金ニーズに対応できる体制を整備してきています。

### ③中小企業向け再生融資 2期連続で過去最高を更新

中小企業向け「企業再生貸付」の実績推移



平成21年度における中小企業向けの特別貸付制度「企業再生貸付」(\*)の融資実績が、868件(前年度比114%)、611億円(同149%)となり、2期連続で過去最高を更新しました。

平成21年度については、厳しい経済環境の下で業績が悪化し、経営再建が必要となっている中小企業が増加する中、平成20年度より「資本性劣後ローン特例」の取扱いを開始したことや、政府の経済対策に基づき、金利の引下げ・上限金利の設定など、より利用しやすい制度に拡充を行ったことから、本融資制度の実績が大幅に増加しました。

※「企業再生貸付」は、中小企業の自助努力による企業再建や事業承継の円滑化を支援する「企業再建・事業承継支援資金」と、民事再生法に基づく再生計画の認可決定などを受けた方等の事業再生を支援する「事業再生支援資金」(DIPファイナンス)で構成されています。

## ご存知ですか? 設備資金の利率が当初2年間、0.5%軽減されます!

物価が下落する経済状況の下で、長期の設備投資を行う中小企業の皆さまに対して、金利負担を軽減することにより投資を促進することを目的とする制度「設備資金貸付利率特例制度」が平成22年2月15日からスタートしています。

### ご利用いただけるかた

特別貸付制度(注)による**設備資金**の貸付を受けるかた  
(注)一部ご利用いただけない貸付制度もあります。

特例制度の内容	利用限度	適用する特別貸付制度の貸付限度額
	利率	適用する特別貸付制度に定める利率から <b>0.5%を控除</b> します。
	適用期間	適用する特別貸付制度の融資期間のうち <b>貸付後2年間について</b> 本制度による貸付利率の控除を適用します。
	その他	●事業の用に使用されない土地の取得については本制度の対象にできません。 ●上記以外の貸付条件は、各特別貸付制度で定められています。

※本制度の利用には、事業の見通し等について、公庫の審査が必要になります。審査の結果、本制度をご利用いただけない場合もあります。

### 本制度のお問合せ

日本公庫中小企業事業の窓口にお問い合わせください。

## 編集後記

残暑厳しいこの季節、冷房でキンキンに冷えた室内で過ごし、夏バテなどでダウンされている方も多いのではないのでしょうか。今年度から本誌の担当とな

った私も、風邪をひきながらのスタートとなりました。

取材時期が梅雨と重なり表紙の撮影が進まないなど、不安定な天気にも

されながらも、同行した特集記事の取材日だけは、雲一つない青い空。社長の熱き想いが反映されているようで、心に残る一日でした。(高)